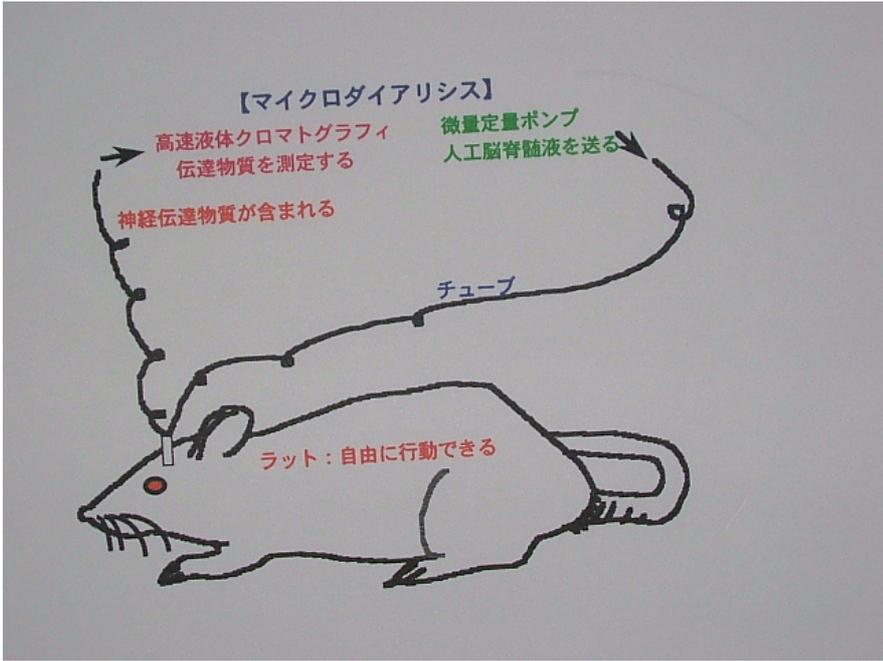


所属・職・氏名	岩手大学農学部 獣医学科 獣医薬理学 教授・小林 晴男
シーズ名	殺虫薬の中樞神経毒性をマイクロダイアリシスで知る
シーズの概要	<p>マーケットの殺虫スプレーや蚊取り線香、電気マットの成分を見ると全てというくらいピレスロイド剤である。ピレスロイド剤は人やペットなどに対する毒性が低いということで良く使われているが、中枢神経系（脳、脊髄）に対する影響はほとんど知られていない。中枢神経系の機能は種々神経伝達物質（アセチルコリン、ドーパミン、セロトニン、ガンマアミノ酪酸、グルタミン酸など）の伝達状況に左右される。マイクロダイアリシスは自由に動き回る実験動物（ラット）の脳における神経伝達物質の伝達状況を時間を追って調べることができる。我々は3種のピレスロイド剤をラットに投与して、種々神経伝達物質の伝達状況をマイクロダイアリシスによって調べ、国際誌への論文発表、国際学会、国内学会での発表を行ってきた。</p> 
その他参考資料	NeuroToxicology 25: 825-833, 2004 Toxicology and Applied Pharmacology 197: 319, 2004
共同研究機関・企業	
特許(出願)番号	